

茅ヶ崎市 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素シナリオ

GOAL

START

短・中期

2030年

中・長期

2040年

2050年

部門横断的 取り組み

茅ヶ崎市が抱える課題や地域特性を踏まえたCO₂削減のポテンシャル

- 脱炭素化に向けた意識啓発
- 効果的な脱炭素技術の導入・取組みの実施
- 観光産業の脱炭素化
- 災害用電源の確保
- ごみの発生抑制・海辺の保全（ごみ削減の啓発）

産業部門

- 大規模工場等へ再エネの導入
- 老朽化設備の更新
- 観光産業の脱炭素化
- 耕作放棄地等の有効活用（太陽光発電導入）

業務部門

- 新築建物および既築建物のZEB化
- 再エネ電気調達の推進
- 公共施設のZEB化（新庁舎等）
- ソーラーカーポートの設置
- 災害拠点・避難所の災害用電源確保

家庭部門

- 既存住宅の省エネ設備・太陽光導入
- 新築住宅のZEH化
- 空き家対策検討（太陽光パネル導入）
- 食品廃棄物やプラスチックごみの削減

運輸部門

- 公共交通の脱炭素化
- 充電場所の整備促進による拠点拡大
- 自動車のEV化
- 自転車活用

2030年目標達成に向けた重点施策

部門横断的な取り組みによる脱炭素効果の最大化

●脱炭素化に向けた意識醸成・行動変容への周知・啓発

- 脱炭素技術導入・取組みの推進
- 主要産業の活性化・地域課題の解決
- 災害レジリエンスの向上
- 資源循環型まちづくりの推進



さらなる脱炭素化・革新的技術の導入による経済成長

- 大規模工場等へ太陽光パネル（PPA等）導入推進
- 省エネ診断・エネルギー転換の推進
- 地域の魅力を活かした観光産業の発展



脱炭素を経営に取り込み持続的な成長

- 環境型経営による企業価値の向上
- 再エネ電気の利用・ZEB化の推進
- 公共施設（災害拠点・避難所）への太陽光発電＋蓄電池の導入推進



快適で環境と調和した暮らし

- 省エネ家電の利用推進
- 新築住宅のZEH化・太陽光発電導入の推進
- エシカル消費の推進・家庭ごみの削減



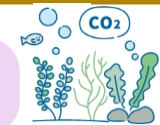
環境にやさしく移動できるまち

- 公共交通のEV化の推進
- 再エネ充電インフラ整備の推進
- MaaSによる効率的な移動の推進



将来の革新的技術を積極活用した脱炭素施策

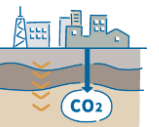
●ブルーカーボンの研究開発、クレジットの活用検討と推進



●海洋エネルギーの活用

●緑化の推進

●CO₂回収・貯留技術実装の実現



●再エネ供給の広域連携の推進（湘南都市圏域）

●災害レジリエンスの強化

●資源循環型まちづくりの拡大

●革新的技術の開発・積極導入（薄型太陽光発電（ペロブスカイト））等

●化石燃料からクリーンエネルギーへの転換拡大

●脱炭素と連動した観光産業の発展

●持続的なまち湘南の実現

●ソーラーシェアリング、スマート農業の推進

●農業機械等の電動化



●RE100化の展開・拡大

●新築建築物のZEB標準化

●主要施設のZEB化・RE100化の展開

●太陽光発電＋蓄電池の導入拡大



●省エネ家電の導入拡大

●新築住宅のZEH標準化

●ZEHの拡大

●空き家の有効活用推進

●循環型ライフスタイルの拡大

●AIやIoTによる効率的な公共交通システムの構築

●自動運転の実証実験



●水素ST・FCVの拡大

●路線バス等のEV化

●MaaSの拡大



※本シナリオは、2050年カーボンニュートラルに向けて本市の地域特性（産業構造・再生可能エネルギー導入の可能性の状況等）やエネルギーに係る現在の技術水準等の市域のポテンシャルを踏まえて整理したものです。このシナリオに基づき、市・市民・事業者と議論を深め、2030年までの温室効果ガス削減目標に向けた実効性のある取組みにつなげていきます。また、2030年以降の取組みについては、将来の革新的技術の活用も踏まえた見通しも含めた設定としています。